

# 那須烏山

— No.121 —

2015  
October

# 10

Public Relations Magazine  
of Nasukarasuyama City

那須烏山市が市制10周年を迎えました…	2
那須烏山市人口ビジョン骨子(案)の紹介…	6
第5回市議会定例議会…	8
平成26年度決算…	10
共同指令センターが運用を開始しました…	13
今月からマイナンバーが通知されます…	14
第10回那須烏山市水泳大会…	16
各地で伝統の舞を披露…	18
まちの話題…	20
インフォメーション…	22
今年も「風っこ号」が快走…	24



10周年おめでとう！（9月15日、すくすく保育園）

市が

# 10周年

を迎えました

## 那須烏山市10年のあゆみ

### ■平成17年

10月1日 那須烏山市誕生(旧南那須・旧烏山町2町合併)

11月6日 那須烏山市長選挙

12月4日 第1回那須烏山マラソン大会

12月11日 山あげ烏章館落成式

12月19日 埼玉県和光市と災害時相互応援協定締結

### ■平成18年

2月18日 那須烏山市合併記念式典

3月4日 熊田診療所落成式

3月31日 境中学校閉校

4月1日 那須烏山市消防団結成

4月16日 那須烏山市議会議員選挙

5月14日 那須烏山市農業委員会委員選挙

5月30日 那須烏山市体育協会設立

6月16日 那須烏山市文化協会、国際交流協会設立

7月14日 那須烏山市まちづくり研究会設立

10月1日 合併1周年記念式典

11月16日 東京都豊島区と非常災害時相互応援協定締結

12月5日 「非核平和の市」宣言

### ■平成19年

1月7日 第1回那須烏山市合同成人式

1月14日 第1回那須烏山市駅伝競走大会

3月31日 向田小学校、野上小学校閉校

### ■平成20年

3月31日 東小学校、境小学校閉校

4月7日 新生「烏山高等学校」開校式

4月8日 新境小学校開校式

10月1日 合併記念「那須烏山市民の集い」

### ■平成21年

1月27日 国道293号志鳥ハイパス開通式

3月31日 興野小学校閉校

4月2日 すくすく保育園開園式

11月21日 合併記念式典

### ■平成22年

3月1日 烏山女子高等学校閉校式

4月1日 那須烏山市女性消防団員辞令交付

12月12日 国道293号鹿子畑ハイパス開通

### ■平成23年

2月20日 市制施行5周年記念式典

3月11日 東日本大震災(震度6弱)発生

3月31日 境保育園、烏山幼稚園、宮原児童館、小木須児童館閉園

5月9日 東日本大震災による岩子仮設住宅入居式

7月23日 JRR烏山線開業88周年記念式典

10月1日 那須烏山市表彰式

### ■平成24年

3月31日 七合中学校閉校

4月1日 南那須図書館、烏山図書

### 12月22日

主要地方道宇都宮那須烏山線「高瀬トンネル」開通式

### ■平成25年

1月29日 イメージキャラクター決定

4月1日 総合計画後期基本計画スタート

4月14日 消防防災会設立総会

4月28日 東日本大震災による岩子仮設住宅閉所式

7月27日 山あげ祭・烏山線開業90周年記念大屋台パレード

8月6日 広島平和記念式典中学生派遣開始

### ■平成26年

3月15日 JRR烏山線アキム(蓄電池列車)運行開始

3月 // JRR烏山線烏山駅舎、大金駅舎落成式

3月25日 那須烏山消防署竣工式

3月 烏山の山あげ行事がユネスコ無形文化遺産候補に決定

10月1日 デマンド交通試験運行開始(烏山地区)

10月5日 ねりんピック俳句交流大会

10月26日 那須烏山市民の歌発表大会

12月7日 第10回那須烏山マラソン大会

### ■平成27年

3月31日 荒川中学校、下江川中学



市イメージキャラクター誕生。



烏山高校開校式。



那須烏山市誕生(開庁式)。

# 那須烏山 市制

6月6日 烏山女子高等学校創立80周年記念式典  
 9月4日 那須烏山市総合計画・基本構想議決  
 10月1日 合併2周年記念式典、市の木・花・鳥・魚制定  
 10月1日 子ども館オープン  
 10月18日 烏山高等学校創立百周年記念式典  
 10月28日 第1回市民号出発

5月12日 館指定管理開始  
 南那須B&G海洋センター  
 8月31日 新学校給食センター開所式  
 9月2日 栃木県総合防災訓練(那須烏山市)  
 10月1日 デマンド交通試験運行開始(南那須地区)  
 10月13日 那須烏山市表彰式

4月1日 校閉校  
 南那須中学校開校  
 4月18日 大金駅前観光交流施設オープン  
 10月1日 市制10周年記念式典並びに平成27年度那須烏山市表彰式典



アキュム運行開始。

平成17年10月1日に南那須町と烏山町が合併し、市制10周年の節目の年を迎えました。市では10周年を記念し、10月1日(木)に「市制10周年記念式典並びに平成27年度那須烏山市表彰式」を行いました。

今月号では、歴史をふり返りつつ式典の様子や、市と同じ10歳を迎える子どもたちにインタビューをしましたので紹介します。

市では、10月1日(木)、市制10周年を記念し、「市制10周年記念式典並びに平成27年度那須烏山市表彰式」を烏山公民館で開きました。会場には、来賓や市民など約300人が出席し、記念すべ



上:式典であいさつする大谷市長/下:乗合船を披露。

き節目を祝いました。式典では、まず第一部として、山あげ保存会芸能部会による祝い舞踊「乗合船(乗合船恵方万歳)」の記念公演が披露されました。この演目は、船を「宝船」、登場人物を「七福神」に見立てたもので、おめでたい席で踊られる舞踊です。公演が終ると出席者からは、常磐津の三味線や唄と華やかなステージに盛大な拍手が送られました。第2部では、国井豊副市長による開会宣言が行われた後、大谷範雄市長が「市制10周年を迎え、多くの市民の皆さんと共に

## 合併から10年。更なる那須烏山市の発展を目指して

那須烏山市長 大谷範雄



平成17年10月1日に南那須町と烏山町の合併により那須烏山市が誕生し、10年が経過しました。合併以来、地域の均衡ある発展と融和融合を図るとともに、地域資源と地域活力を最大限に活かした知恵と協働によるまちづくりを目指し、着実に各種施策を推進してまいりました。これも市民の皆さまのご尽力によるものと深く感謝申し上げます。

私たちのまち那須烏山は、那珂川を中心とした市内を流れる清流のもと恵まれた自然や貴重な歴史・文化遺産、やすらぎと温かみを感じる日本の原風景、それにも増して活力にあふれ、郷土を守り続ける市民の皆さま、それらすべてがこのまちの誇りです。

私は、未来のある子どもたちに「この愛する郷土を守り伝える」とともに、今ある資源を磨き最大限活用し、自立・継続性のある希望に満ちた「那須烏山市を創生する」ことを目指し、住みやすい環境づくりそして明るく活気あるまちづくりに邁進してまいります。

祝うことができたのはとても喜ばしい。節目を迎えた今、更なる市の発展をするために重要な年となる。子どもたちにとって将来にわたり住み続けたいと思えるまちづくりを目指していきたい」と式辞を述べました。

続いて、市政の発展や市民の福祉の増進など、市民の模範となる行為をした人々や団体に対して表彰状の贈呈を行いました。今年も、特別功労表彰、市政功労表彰、まちづくり貢献賞で34人のほか、将来を担う小中学生を対象に募集した「未来都市絵画コンクール」の上位11人に表彰状が贈られました。受賞者を代表して特別功労表彰が贈られた池澤進さんは、「表彰を受けたことは、生涯忘れることなく精進したい。栃木県のリーダーとなる市になるために、これからも小さな手伝いをしていきたい」と謝辞を述べました。



大谷市長から表彰状が手渡される(市表彰式)。



高野さんによる基調講演「航空教室」。

その後、来賓として出席した福田富一栃木県知事や築和生衆議院議員、三森文徳県議会議員、福島泰夫那珂川町長による祝辞が述べられました。

第3部では、本市出身で元全日空機長の高野開さんによる「航空教室」航空よもやま話」の基調講演が行われました。高野さんは、昭和37年に全日空に入社後、43年に機長に昇格、平成9年に定年退職をするまで、国内線や国際線に従事し、総飛行時間1万6千時間にものぼるベテランパイロットでした。現在は、外国人パイロット訓練教官として活躍しています。

「10周年の記念式典に呼んでいただいたことは光栄です」とあいさつした高野さん。講演では、飛行機の燃料や操縦室の計器類など当時の体験談が語られ、出席者たちは興味津々な様子で耳を傾けていました。

## 大賞受賞インタビュー

タイトル

「だいすきなすからす山」

七合小1年 石塚優くん



この絵は、大好きな家族とこれからもずっと大好きな那須烏山市で過ごしたいという思いで、家族と一緒に考えて描きました。

よく妹と遊ぶ「シャボン玉」の中に描いたのは、花や魚、虫、そして電車、仲良しの家族など好きなものばかりです。

ぼくは、何年経っても自然いっばいでみんなが仲良しな那須烏山市のままでいてほしいです。

## 市表彰式の受賞者

※敬称略( )内は功績。絵画コンクールのみ学校名、学年。

【特別功労表彰】：▽島崎利雄(南那須地区雇用協会会長) ▽塩野榮司(市教育委員会教育委員長) ▽池澤進(市教育委員会教育長) ▽関口忠司(那須南病院院長) 【市政功労表彰】：▽佐藤昇市(市議会議員) ▽高徳正治(市議会議員) ▽塩野哲男(市農業委員会委員) ▽横山通有(市固定資産評価審査委員会委員) ▽塩野富夫(行政區長) ▽澤村耕正(行政區長) ▽本庄守(副行政區長) ▽大橋東洋雄(民生委員児童委員) ▽國井ひろ子(民生委員児童委員) ▽古葉六男(民生委員児童委員) ▽矢口文子(民生委員児童委員) ▽萩原宣子(消費生活リーダー会長) ▽網野利英(交通指導員) ▽小川清(市消防団副団長) 【まちづくり貢献賞】：▽藤浪勝一(森田獅子舞保存会会長) ▽辻田睦子(烏山ふるさと太鼓保存会指導者) ▽森戸一男(烏山に関する歴史専門書などを市に寄贈) ▽古川靖史(烏山の山あげ行事の記録を市に寄贈) ▽羽石一夫(地域特産「中山かぼちゃ」を生産し地域特産物マイスターに認定) ▽越雲キミ工(烏山の山あげ行事に出演する演者の指導、国重要無形民俗文化財の保存と継承) ▽滝田正(高齢者の軟式野球をとおした生涯スポーツの振興) ▽烏山語りの会(地域を由来とする民話などを中心に伝統を継承) ▽南那須工業クラブ(南那須地域の地場産業の発展と労務改善に精励) ▽南那須地区雇用協会(南那須地域の事業所の需要供給調整をはかり市内企業の発展に精励) ▽向田ふれあいの里(地域連携による高齢者の介護予防やいきがいづくり高齢者福祉の増進) ▽那須烏山ふれあいの会(観光地のボランティアガイドとして観光の振興に貢献) ▽横枕青年団(地域の環境を生かした地域間交流や活性化) ▽嵐山睦(万灯みこしをとおし県内外の地域間・世代間交流による観光の振興) ▽烏山ロータリークラブ(図書の寄贈など青少年に対する健全育成の活動) ▽市民力フェス35番館(女性視点に立ち市民の憩いの場を提供) 【未来都市絵画コンクール】：▽大賞・石塚優(七合小1年) ▽準大賞・岡アンニケル蘭奈(江川小1年) ▽優秀賞・大輪ひかり(境小1年)、菊地倅多(烏山小2年)、伊藤愛純(荒川小3年)、宮本玲奈(七合小4年)、根元日奈子(烏山小4年)、山口舞由(烏山小5年)、田邊優登(烏山小6年)、高田虎太郎(南那須中2年)、阿久津奈々(杏烏山中1年)

ぼくたち  
わたしたち

# 10歳になりました！

そして、「②将来の夢」についてインタビューをしました。  
[そして、「②将来の夢」についてインタビューをしました。]



境小4年  
生井陽くん(下境)

- ①校内漢字テストで合格点を取り続けること。
- ②「長距離陸上選手」…兄の陸上大会を見に行ってから興味を持った。得意な長距離を生かして世界で活躍する陸上選手になりたい。



境小4年  
菊地香帆ちゃん(小木須)

- ①地区音楽祭に向けた歌の練習。
- ②「小学校の国語の先生」…難しいことや分からないことを今教えてくれている先生のように子どもたちに分かりやすく教えてあげたい。



烏山小4年  
岡崎那奈ちゃん(神長)

- ①漢字の「トメ」・「ハネ」をしっかりできるようにすること。
- ②「小学校の理科の先生」…教えてあげることが好きだから。子どもたちから頼られる優しい先生になりたい。



烏山小4年  
阿久津総一郎くん(金井)

- ①算数や国語、学校以外でも勉強を頑張ること。
- ②「医者」…たくさん勉強して尊敬する両親のような医者になって、病気の人を一人でも多く助けてあげたい。



七合小4年  
田代悠馬くん(谷浅見)

- ①将来の夢を叶えるために烏山高校、農業大学へ行くための平日頃の勉強。
- ②「牛飼」…おじいちゃんのような牛飼になって、たくさんの人に美味しい牛肉を食べてほしい。



七合小4年  
樋山日佳里ちゃん(興野)

- ①算数の割り算や掛け算を完璧にすること、字を丁寧に書くこと。
- ②「画家」…自分が描く絵をたくさんの人に見てもらい、あたたかい気持ちになってほしい。



江川小4年  
小川望月ちゃん(下川井)

- ①吹奏楽部で担当するスネアドラムで自分のパートを完璧にすること。
- ②「美容師」…お友達の親がとても上手なので、自分もいろんな人をきれいにしてあげたい。



江川小4年  
竹井弥月くん(熊田)

- ①算数のテストで100点をとること。
- ②「プロ野球選手」…きっかけはお父さんの野球をしている姿を見てカッコいいと思ったから。練習のない日も毎日素振り頑張っています。



荒川小4年  
新島海翔くん(鴻野山)

- ①算数の足し算や引き算の計算を得意にすること。
- ②「JR烏山線電車の運転手」…小さい頃から見えてきた烏山線の運転手に憧れていた。地域の皆を乗せてあげたい。



荒川小4年  
村上遥ちゃん(南大和久)

- ①3歳から習っているピアノをもっと上達させること。
- ②「薬剤師」…たくさんの方の病気を治して、みんなが健康で幸せに笑顔で生活できるようになってほしい。

# 「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定に向けて

# 「那須烏山市人口ビジョン」(骨子)案(案)を紹介しします

平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、市では「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」について平成28年3月の策定に向けて取り組んでいます。

今回、人口動向と将来展望を示した「那須烏山市人口ビジョン」(骨子)案(案)をまとめましたので、その概要について紹介しします。

## 人口急減・超高齢化を回避するために

平成26年5月に開かれた有識者でつくる民間研究機関「日本創成会議」人口減少問題検討分科会において、独自推計により若年女性人口が2040年に5割以上減少する市町村は本市を含む896(全体の49.8%)であり、「消滅可能性都市」になると発表されました。そのうち人口1万人未満となる市町村は523(全体の29.1%)にのぼるとされています。

このような状況を踏まえ、国では、人口急減・超高齢化という大きな課題に対し政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、平成26年9月に「まち・ひと・しごと創生本部」が閣議決定により設置され、同年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。さらには、国と地方が総力をあげて取り組むための指針として、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビ

ジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が同年12月27日に閣議決定されました。

その中で、地方公共団体では、国が策定する「長期ビジョン」と「総合戦略」を勘案して、当該地方公共団体の人口動向を分析し、将来展望を示す「地方人口ビジョン」と、それを基に、今後5ヶ年の目標、施策の基本的方向性や施策を提示する「地方版総合戦略」の策定が求められました。

## 総合戦略策定に向けて創生戦略本部を設置

市では、策定にあたり産官学金言労等で構成する推進組織で検討するなど、広く関係者の意見を反映することが求められていることから、平成27年2月に諮問機関である総合政策審議会を設置しました。また、3月には庁内組織として創生戦略本部を設置し、「那須烏山市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創

生総合戦略策定方針」を策定しました。

総合政策審議会では、人口減少の深刻な状況と今後の対応のあり方について、長期的かつ総合的視点から、有効な政策を迅速に実施していくための慎重に審議を重ね、中間報告として「人口ビジョン策定に向けた基本的方向」をとりまとめ答申しています。

市では、この答申を踏まえ「那須烏山市人口ビジョン」(骨子)案(案)をまとめました。

## 那須烏山市人口ビジョン(骨子)案の概要

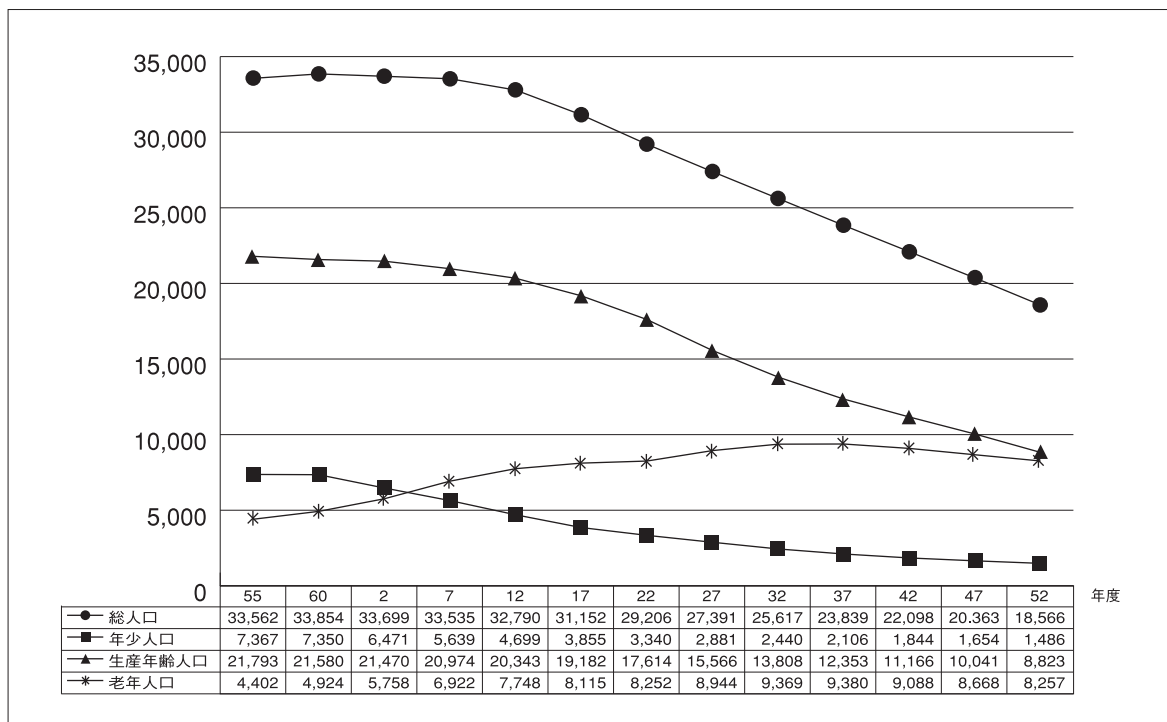
「那須烏山市人口ビジョン」(骨子)案)については、人口現状分析及び将来の人口推計を基に「目指すべき将来人口の方向・目標」と「人口・出生率・人口移動の目標」を設定しています。

### 1.人口現状分析

本市の総人口は、平成7年以降、急激に人口が減少しており、合併時の平成17年国勢調査人口は3万1152人、平成22年では2万9206人となり5年間で約23000人減少しており、今後一貫して人口が減少し続けると推計されます。また、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」と表記)では、平成52(2040)年に約1万8500人と推計していますが、日本創成会議では約1万7300人と推計しており、本市の人口減少は、予想以上に加速す

那須烏山市の年齢3区分別人口の推移

(国勢調査、平成27年以降は社人研推計値)



## <基本的視点>

- ①若年層の人口流出に歯止めをかける。  
…将来にわたって住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、存続可能な年齢構成の人口構造を目指していく。
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての環境を整備する。  
…年少人口、生産年齢人口の減少に歯止めをかけるため若者の就労支援による地元への定住促進及び婚姻の推進、子育て環境の充実による出生率の向上を図っていく。
- ③地域資源を活用した魅力あるまちづくり、ひとづくりを進め定住環境を整える。  
…「住みたいまち」「住み続けたいまち」にするため地域資源を活用し魅力あるまちづくりを進めていく。
- ④高齢者の健康寿命の一層の推進を図る。  
…高齢者がができる限り健康状態を保てるよう「健康寿命」を伸ばし、地域社会に参加できる取り組みを進め人口減少を抑制する。

## <目指すべき将来人口>

- ・自然増減：若い世代の希望を実現した場合の出生率を目標とする。  
…合計特殊出生比率を平成42(2030)年までに1.8程度、平成72(2060)年までに2.1程度(人口置換水準)に向上する。
- ・社会増減：若い世代の就労・結婚・子育ての環境を整備し転出の抑制を図る。  
…平成47(2035)年までに人口移動を収束させる。
- ・平成52(2040)年に20,000人、平成72(2060)年に16,000人程度を維持する。

る可能性があります。

このように、今後もしも高齢化や人口移動の傾向がそのまま続くと、人口は加速的に減少し、総人口は平成72(2060)年には1万20000人を下回ることが予測されています。

### 2 将来人口展望

高齢化が進んでいる本市の人口構造の現状から、直ちに人口減少に対する効果を見込むことは困難であり、人口が増加するためには長期間を要します。しかし人口減少は、地域経済、市民生活に与える影響が大きいことから人口減少の抑制を図っていく必要があります。このようなことから、本市の持続的な

運営を図るため、将来人口の展望について次の4つの基本的視点及び目指すべき将来人口を設定し、長期的な視野に立った出生数の増加、人口移動の増加に係る施策を展開することとします。

### 3 人口問題に対する基本認識

人口減少は、本市にとって最重要課題であると同時に避けられない現実です。「人口減少が地域経済の縮小を招き、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という悪循環に陥るリスクが高いため、市民と人口問題の認識を共有し、一丸となって取り組んでいく必要があります。また、人口減少問題については、出生率の向上を図っても、すぐには人口増加に反映されないため、長期的視点により施策を進めていかなければなりません。しかし、一刻も早く着手することが重要であり、「基本的視点を基に施策に取り組んでいくこと」としています。

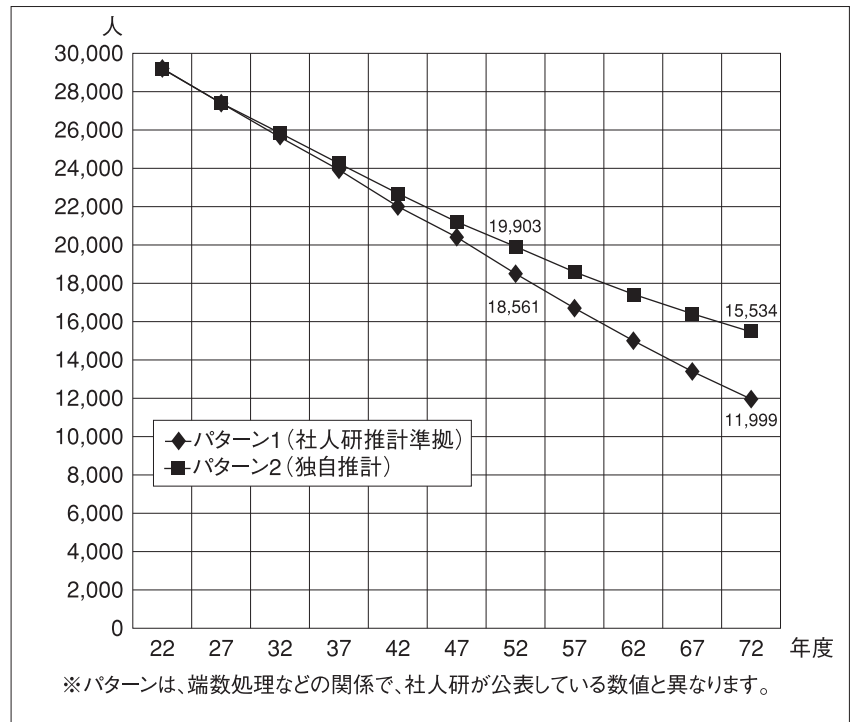
特に結婚・出産・育児の切れ目ない支援の充実を図るなど、若い世代の希望を実現し、小さくても特色ある魅力あるまちづくりを目指すとともに、本市の魅力を外に発信し人口減少対策に取り組んでいきます。

■なお、人口ビジョンについてご意見等がありましたら、総合政策課 ☎0287-183-1111までお問合せください。

将来人口推計 (独自推計人口3区分)

区分	平成22 (2010)年	平成52 (2040)年	平成72 (2060)年
総人口 (人)	29,206	19,903	15,534
年少人口 (%)	11.4	11.6	13.7
生産年齢人口 (%)	60.3	47.0	49.2
老年人口 (%)	28.3	41.4	37.1

那須烏山市の将来人口推計 (総人口)





## 平成26年度決算を認定

# 27年度一般会計は119億9122万7千円

平成27年第5回市議会9月定例会が9月1日(火)から15日(火)までの15日間の日程で開かれ、平成27年度補正予算や条例の制定など13議案を可決。また、26年度の9会計の決算を認定したほか、専決処分など3つの案件について報告しました。主な内容は次のとおりです。

なお、詳しくは、議会事務局 ☎ 0287-881-7114 までお問合せください。

### 26年度の決算認定

一般会計と7つの特別会計及び企業会計の決算が認定されました。詳しくは、10～12ページをご覧ください。

### 27年度の補正予算

#### ○一般会計

平成27年度一般会計予算の歳入・歳出を、それぞれ1億3419万8千円増額し、補正後予算総額を119億9122万7千円としました。

主な内容は、財産管理費として、新地方公会計制度の財務諸表作成に向けた固定資産台帳整備費用300万円等、防犯対策費として、小中学校を中心に主要な公共施設に防犯カメラを設置する費用692万円、環境衛生費として浄化槽設置に対する補助等1559万8千円、道路維持費として、道路施設等に係る維持管理業務委託料の追加と今

後の除雪等に係る費用2400万円、

災害対策費として、市内の各自主防災

組織の防災倉庫設置に係る費用153

万円、学校管理費として、烏山中学校

プールの排水不良箇所の改良等の追加

工事費800万円、体育施設費として、

武道館外構設計業務等に係る費用68

8万円などです。

#### ○特別会計

介護保険は、前年度の保険給付費や

地域支援事業費の実績に基づく国・県

支出金等の精査に伴う償還金など44

57万1千円を増額し、26億5677

万1千円としました。下水道事業は、施

設整備費工事請負費を873万円増額

し、4億9703万6千円としました。

簡易水道事業は、配水管布設替工事費

用等に係る費用891万7千円を増額

し、1億960万7千円としました。

#### ○企業会計

水道事業は、配水管布設替の工事費

用として資本的支出を543万3千円

増額し、3億1040万7千円としま

した。

### 条例の制定及び一部改正

・第2次地域主権一括法の施行に伴い、工場立地法に関する地域準則制定権限がすべての市に移譲されたことを受け、本市における工場立地に関し工場敷地の緑地面積率等を緩和するため、「市工場立地法準則条例」を制定しました。

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

が平成27年10月5日から施行されるこ

とに伴い、市の機関が保有することと

なる特定個人情報等の厳正な管理と適切な運用を行っていくため、「市個人情報保護条例」を、また、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を新設し、

現行の住民基本台帳カード交付及び再交付手数料を廃止するため、「市手数料

条例」を一部改正しました。

### 人権擁護委員の人事

人権擁護委員のうち、平成27年12月31日で任期満了となる平塚禮子氏を引き続き委員として任命したほか、鈴木三男氏に代わり、新たに橋本恵子氏を任命しました。

### 市教育委員会委員の人事

平成27年11月29日で任期満了となる滝口由美子氏に代わり、新たに網野甚一氏を市教育委員会委員に任命しました。

### 議決事項

・平成27年10月1日から大田原地区広域消防組合及び黒磯那須消防組合を廃止し、那須地区消防組合が設立されることに伴い、栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数を減らし、規約を変更しました。



・旭地内県道上で発生した車両追突による人身事故について、損害賠償の額を決定し和解しました。

・平成26年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、平成26年の未処分利益剰余金の当年度末残高1億6142万3873円から減積積立金を差し引いた1億5912万3873円を次年度へ繰り越すこととしました。

## その他

・損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分1件、一般財団法人那須烏山市農業公社の平成26年度の経営状況

説明書、平成26年度健全化判断比率及び貸金不足比率(詳しくは12ページに掲載)について報告しました。

・市議会議長あてに提出された陳情書2件のうち、「市道月次南大和久線歩道整備(南大和久地内)について」が採択されました。なお、「安全保障法制法案に関する意見書採択を求める陳情書」は不採択となりました。また、継続審査となっていた「国の責任による35人以下学級の前進をもとめる陳情」と「特別支援学校の設置基準策定を国に求める陳情」については、不採択となりました。

## 27年度『第2四半期』7月～9月

### 那須烏山市教育委員会会報

#### ■第8回教育委員会(7月24日)

- 区域外就学の許可を承認
- 要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認

- 平成28年度使用小学校校用及び中学校用並びに小中学校特別支援学級用教科用図書を採択

#### ■第9回教育委員会(8月21日)

- 就学指定校の変更を承認
- 平成27年度那須烏山市教育費予算の補正を決定

#### ■第10回教育委員会(9月25日)

- 就学指定校の変更を承認
- 区域外就学の許可を承認
- 要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認

- 那須烏山市立小中学校主任等を承認

#### ▼8月27日(水) 那須烏山市総合教育

#### ▼9月24日(水) 会議出席

- 那須烏山市中学生海外派遣団結団式出席

## 長寿と健康を祝う

# 市内64ヶ所で敬老会

9月21日(月)の「敬老の日」を中心に、市内64の地域や老人施設等でお年寄りの長寿と健康を祝う敬老会が開かれました。

今回、招待されたのは、75歳以上の4960人(男1892人、女3068人)。各会場では、食事をしながら唄や踊りなど工夫を凝らした余興が披露され、お年寄りの楽しむ姿がみられました。

総務省が9月20日(日)に発表した人口推計によると、15日時点で全国の65歳以上の高齢者は前年に比べて89万人増の3384万人で、このうち80歳以上は、38万人増の1002万人となり、初めて1千万人を超えました。また、100歳以上の高齢者は過去最多の6万1568人となりました。

本市では、住民基本台帳における9月1日現在の65歳以上の人口が、8932人(男3903人、女5029人)。100歳以上の高齢者は20人となりました。



また、9月28日(月)と29日(火)には、大谷市長が今年度99歳以上を迎える高齢者の自宅を訪問しました。訪問では、国や県、市からの祝詞や記念品のほか、生きがいの郷からすま(長岡ヒロエ代表)からの手作りプレゼントを贈呈しました。受け取った高齢者たちは、心のこもったプレゼントに喜んでいました。



小木須自治会。



南部支部。



宮原自治会。

# 決 算

26年度  
SETTLEMENT OF ACCOUNTS

## 平成26年度の決算状況

# 一般会計歳出総額約119億円

平成26年度の一般会計と7つの特別会計・企業会計の決算がまとめられましたので、その概要をお知らせします。  
詳しくは、総合政策課 ☎0287-831112までお問合せください。

### 一般会計

平成26年度の一般会計の決算状況は、歳入が122億9834万7308円、歳出が118億7906万912円で、25年度の決算額と比較すると、歳入は3億227万6825円(2.4%)の減額、歳出は2億2154万2193円(1.8%)の減額となりました。

※以下、一般会計の千円未満は四捨五入

#### 【歳入】

市税は、個人住民税所得割の減収などにより、対前年比2.8%減額の30億1490万円。また、地方譲与税は対前年比4.7%、自動車所得税交付金は51.8%の減額となりました。

地方交付税については、特別交付税のうち、震災復興特別交付税分の交付などもあり、対前年比2.9%増額の48億9478万7千円となりました。国庫支出金は、荒川中学校大規模改修の公立学校施設整備補助金などの増によ

り、対前年比2856万2千円(2.5%)の増額。県支出金は、介護施設関係への事業費補助金の減により、対前年比9068万2千円(10.4%)の減額となりました。繰入金金は、財政調整基金などの取り崩しを行ったため増額。市債は、消防施設整備事業債の減などにより対前年比7億2700万円(51.6%)の減額となりました。



介護や子育て支援の充実に努めました(上:いきいきサロン交流会/下:放課後児童クラブ)

#### 【歳出】

議会費は、議員報酬及び議会運営費の増により、対前年比650万2千円(4.5%)の増額となりました。

総務費は、市有施設整備基金の積立の減などにより対前年比1億6007万4千円(9.7%)の減額となりました。民生費は、子育て支援や子ども医療費助成、高齢者及び障がい者福祉支援

対策などの充実に努め、対前年比511万円(0.2%)の増額となりました。また、決算全体の28.6%を占め、総額で33億9645万8千円となっています。

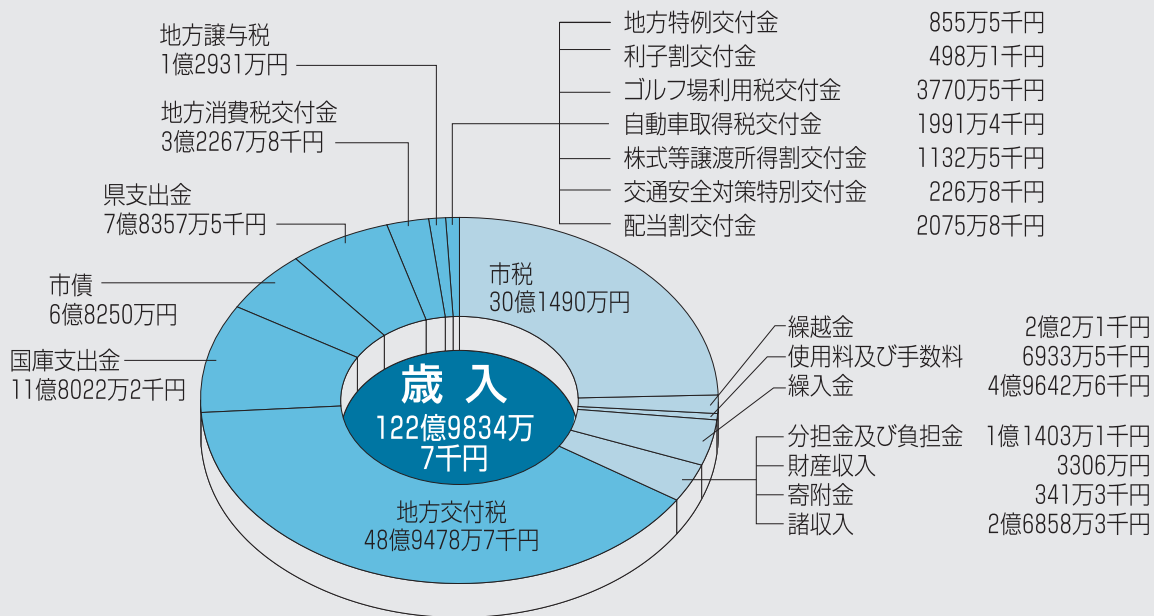
衛生費は、水道事業会計繰出金や病院費などの広域行政事務組合への負担金、浄化槽設置整備費及び健康診査事業費など、対前年比2億1560万7千円(16.1%)の増額となりました。

労働費は、雇用対策事業の減により、対前年比62万5千円(59.4%)の減額となりました。

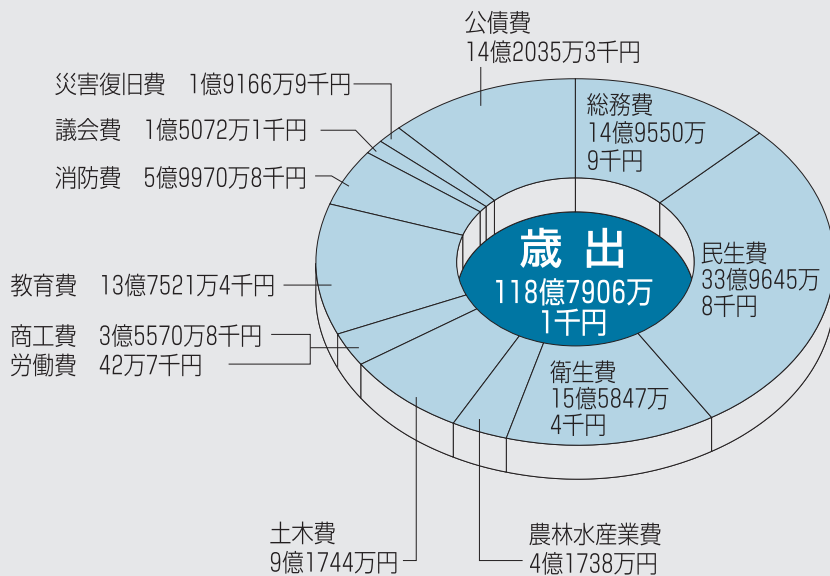
農林水産業費は、市単独土地改良事業や農業集落排水事業特別会計繰出金の増により、対前年比4641万5千円(12.5%)の増額となりました。

商工費は、観光振興対策事業費の減により、対前年比1362万8千円(3.7%)の減額となりました。

土木費は、繰越事業の1路線が完了。合併特例債を活用した道路整備として



■ 自主財源 ■ 依存財源



# 一般会計

※千円未満四捨五入



大規模改修された南那須中の校舎。

繰越分を含め9路線、辺地債1路線に取り組むなど、対前年比1億6842万1千円(16.5%)の減額となりました。消防費は、消防庁舎建設に伴う広域行政事務組合への負担金の減により、対前年比5億9196万5千円(49.7%)の減額となりました。

教育費は、荒川中学校大規模改修事業費(現・南那須中)の増などにより、対前年比2億2888万9千円(20.0%)の増額となりました。

災害復旧費は、大金駅前観光交流施設整備事業費の増により、対前年比1億4012万1千円(271.8%)の増額となりました。

公債費は、市債元利償還金が14億2035万3千円で対前年比7052万7千円(5.2%)の増額となりました。

## 特別会計

国民健康保険の事業勘定は歳入が36億8254万6742円、歳出は35億3943万3440円となりました。診療施設勘定は、歳入が1億7314万2642円、歳出は6626万1272円となりました。(※事業勘定は、国民健康保険事業を運営する会計で、診療施設勘定は、境診療所・七合診療所を運営する会計です。)

熊田診療所は、歳入が5890万6253円、歳出が4917万1337円となりました。

後期高齢者医療は、歳入が3億1479万6571円、歳出が3億849万3251円となりました。

介護保険は、歳入が25億2811万6796円、歳出が24億4503万6472円となりました。平成27年3月末現在の要介護及び要支援認定者数は、1434人で、そのうち、1296人(90.4%)がサービスを利用しました。

農業集落排水事業は、歳入が6491万4052円、歳出が6160万5381円となりました。

南那須地区と烏山地区の中心部で供用されている下水道事業は、歳入が6億1936万5852円、歳出が5億9987万1538円となりました。建設改良は、昨年度に引き続いて舟戸

マンホールポンプ場の建設工事及び場内の電気・機械設備の建設工事、烏山処理区における管渠新設工事を行い、併せて水処理施設の維持補修に努めました。

簡易水道事業は、歳入が1億1003万5986円、歳出が9349万4078円となりました。建設改良は、水道水の安定供給を図るため、向田・興野・境簡易水道施設の電気設備などの点検業務を行い、設備保全に努めました。

## 企業会計

公益企業会計の水道事業(※)は、収益的収益が5億4112万5617円、同支出は5億1754万897円となりました。資本的収入は、6041万2000円、同支出は3億1470万7689円となりました。不足額2億429万5689円は、過年度分損益勘定留保資金及び消費税等資本的収支調整額で補てんしました。建設改良は、愛宕台地内において道路改良工事に伴う配水管布設替工事を実施しました。また、漏水の激しい神長川西地内において配水管布設替工事を実施しました。

## 特別会計・企業会計

■国民健康保険(事業勘定)	歳入	36億8254万6742円	■農業集落排水事業	歳入	6491万4052円
	歳出	35億3943万3440円		歳出	6160万5381円
■国民健康保険(診療施設勘定)	歳入	1億7314万2642円	■下水道事業	歳入	6億1936万5852円
	歳出	6626万1272円		歳出	5億9987万1538円
■熊田診療所	歳入	5890万6253円	■簡易水道事業	歳入	1億1003万5986円
	歳出	4917万1337円		歳出	9349万4078円
■後期高齢者医療	歳入	3億1479万6571円	■水道事業(公営企業会計)	収益的収入	5億7745万8495円
	歳出	3億849万3251円		収益的支出	5億5356万5278円
■介護保険	歳入	25億2811万6796円		資本的収入	6041万2000円
	歳出	24億4503万6472円		資本的支出	3億1470万7689円

## 健全化判断比率等

財政健全化法による健全化判断比率4指標と資金不足比率は次のとおりです。(一)内は、早期健全化基準で、どれか一つでも基準を超えると健全化計画の策定が義務付けられます。

- 実質赤字比率：なし(13.67%)
- 連結実質赤字比率：なし(18.67%)
- 実質公債費比率：8.4%(25%)
- 将来負担比率：32.3%(35.0%)
- 資金不足比率：なし(20%)

(※)公営企業会計(水道事業)の収益的収支は、サービスの提供の対価としての料金収入や人件費、物件費、固定資産の減価償却費など。資本的収支は、効果が次年度以降に及ぶもので、施設整備費や企業債の元金償還金、企業債収入などです。